

灌漑分野:2018-2019 年乾季作における活動成果

Savan PAD プロジェクトの灌漑分野の活動では、農家の収入向上に資するため、県・郡職員の灌漑施設管理・水管理技術の向上、水利組織への指導能力の強化、水利組織の財政改善や施設管理能力の向上を中心に活動を行っています。

今回は、灌漑分野における 2018-2019 年乾季作(2018 年 12 月～2019 年 3 月)の活動内容や成果について報告します。

1) 主な活動内容

① 灌漑施設管理・水管理技術の向上

- ・限られた予算、人員で灌漑施設が維持管理できるための水路の簡易補修技術研修
- ・灌漑用ポンプ稼働にかかる電気代節減のための水管理技術の現場指導

- 流量測定、灌漑水量の分析
- 分析結果の水利組織への説明、助言



補修技術研修(座学)



補修技術研修(実地)

② 水利組織の財政改善・施設管理能力の向上

- ・現在の財政状況を把握するための会計研修と現地での会計フォローアップ
- ・灌漑施設管理に関する現場での指導



流量測定トレーニング



水利組織会計研修

2) 成果

① 灌漑面積の増加(7 地区合計*)

*灌漑の行われていないカイソン郡ボンシム地区を除く

地区	2017-2018 乾季 (2017.12 - 2018.3)	2018-2019 乾季 (2018.12 - 2019.3)	増加面積
サイブリ郡トンヘン地区	343 ha	422 ha	+79 ha
サイブリ郡ソムサード地区	115 ha	191 ha	+76 ha
チャンポン郡ポントーン・ドンニエン地区	51 ha	67 ha	+16 ha
チャンポン郡ゲンコックヌア地区	42 ha	42 ha	-
パラサイ郡パノムサイ地区	46 ha	89 ha	+43 ha
ターパントーン郡セーサラロン地区	286 ha	474 ha	+188 ha
ソンナブリ郡ノンブアルアン地区	39 ha	59 ha	+20 ha
合計	922 ha	1,344 ha	+422 ha

②長期補修計画の作成

- ・全 7 地区で灌漑施設の長期補修のための積立計画が作成された。これを目標に水利組織は予算を積み立てていく。

③会計簿の改善と未納電気代の整理

- ・電気代の請求と支払い記録を整理し、現在どれだけの未納額があるかが明らかになった。

長期補修の積立計画(トンハン地区)

④水代未納農家のリスト化

- ・水代未納農家をリストアップし、今後はこれを基に徴収業務を行っていく。

⑤流量計測による灌漑実績水量の把握

- ・流量計測、ポンプ稼働時間の記録により、おおよその灌漑実績水量を把握した。今後は、更にデータを収集し、最終的にポンプ電気代や水代の節減を目指す。

自分たちの力で水路を延伸—ノンブアルアン地区

私達の地区では、かつて水路拡大の計画を立てたのですが、工事に割く労働力もポンプの揚水力も不足していたため、実現には至りませんでした。しかし、Savan PAD の活動で農地や水路の高低差の計測が始まるにつれ、地元の農家達の中に「もう一度自分たちで水路を拡大したい」という思いが蘇ってきたのです。そこで、農家が力を合わせ、プロジェクトから得られた技術的な助言や 500m 分のビニール資材を



水路延伸(黄色部分)により灌漑エリアが拡大

ソナブリ郡
ノンブアルアン地区
カンブアック農家組合長



活用しながら、ついに 800m の水路延伸が叶いました。これらは全て、プロジェクトと農家メンバーの協力の賜と言えるでしょう。

水代を全額回収—ゲンコックヌア地区



サイブリ郡トンハン地区に赴き
経理のノウハウを聞き取り

Savan PAD の活動により、私たち農家が変わったと実感する点は色々あります。

特筆できるのは、今年の乾季作で水代の回収率が 100%に達したことです。これは、水利組織の会計処理や管理のノウハウを学んだことで収支の記録方式がシステム化されたこと、そして、会計担当役員の業務分掌をきちんと定めたことにより、回収された水代が決められた現金出納役に直接納められるようになったことが大きな要因だったのだと思います。



チャンボン郡
ゲンコックヌア地区
キーヤイ水利組合長

<次回予告: 営農分野(コメ)>

営農分野(コメ)は、「適切な栽培技術を多くの農家に広く普及する」ことを目標に活動しました。何人の農家に普及して、何トンとれたのか? 次回報告します。